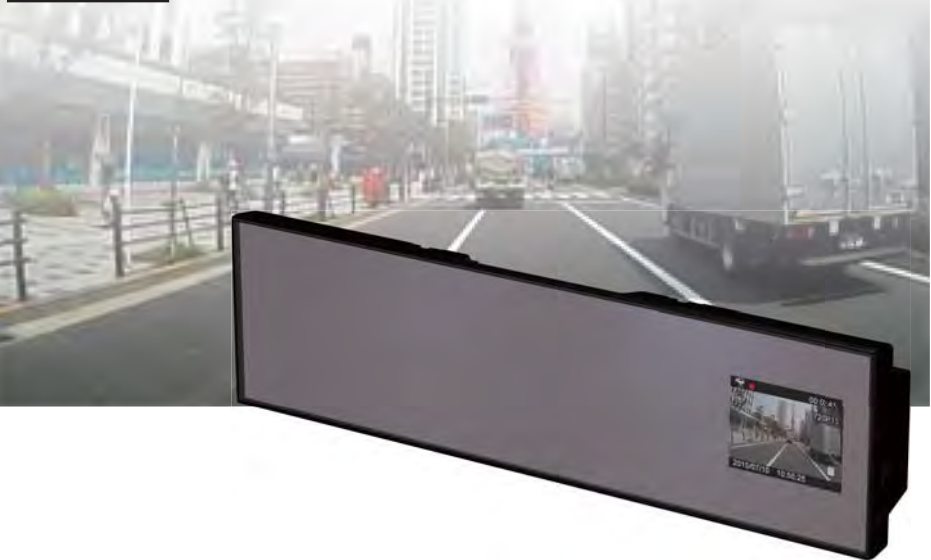


カメラ一体型ミラー型ドライブレコーダー

DRY-FH230M

取扱説明書

12V車専用



このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、同梱品のmicroSDカードに動画を常時録画します。

注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源 OFF にしてから microSD カードを抜いて保管してください。
- ・電源 ON の状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 DRY-FH230M	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所 TEL ()	様
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 同梱品や消耗品等の消耗による交換
- 5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

！

ご注意

SD カードは、
1 ～ 2 週間に一度
フォーマットが必要
です。

SD カードは、データの記録が
繰り返されると、録画可能時間
が減少したり、データの読み込
みや書き込みに時間がかかった
りします。
安定してお使いいただくため
に、1 ～ 2 週間に一度、SD カー
ドのフォーマットを行うこと
をお勧めします。

15

ページ

すぐに使う

19

ページ

SD カードを
フォーマットする

確認とご注意	
安全上のご注意	4
使用上のご注意	9
各部の名称と働き	11
1. 同梱品	12
2. 別売品	12
3. 同梱品・別売品の購入について	12
SD カードの取り外し / 装着	13
1. SD カードを本機から取り外す	13
2. SD カードを本機へ装着する	13
もしも事故が起きたら	14
すぐに使う	
本機の取り付け	15
1. 本機を取り付ける	15
2. 電源を接続する	16
3. カメラの角度を調整する	17
電源 ON ～ OFF までの手順	18
1. 電源 ON (録画を開始する)	18

2. 録画を停止する	19
3. SD カードをフォーマットする	19
4. 日付・時刻を設定する	21
5. 録画を再開する	22
6. 電源 OFF (録画を停止する)	23
初期設定について	23
メンテナンスについて	24
基礎知識	
録画について	25
1. 常時録画	25
2. イベント記録 (ワンタッチ記録)	26
3. 常時録画上書きについて	26
4. SD カード容量残警告	27
カスタマイズして使う	
動画記録モードの設定メニューの 表示方法	28
1. 動画記録モードの設定メニューを表示する	28
2. 録画を再開する	28
動画記録モードの設定メニュー	29

おすすめピックアップ

21

ページ

時刻を設定する

29

ページ

解像度を変更する

41

ページ

こんなときは

14

ページ

事故が発生したら
どうするの？

システム設定メニューの表示方法	30
1. システム設定メニューを表示する	30
2. 録画を再開する	30
システム設定メニュー	31
再生モードの設定メニューの表示方法	32
1. 再生モードの設定メニューを表示する	32
2. 録画を再開する	32
再生モードの設定メニュー	33
動画記録モード	34
静止画記録モードの表示・撮影方法	35
1. 静止画記録モードを表示する	35
2. 静止画を撮影する	35
3. 録画を再開する	35
再生する	
静止画記録モード	36
再生モードの表示・再生方法	37
1. 再生モードを表示する	37
2. 本機で録画ファイルを再生する	37
3. 録画を再開する	37

再生モード	38
録画ファイルの読み出しについて	39
1. SD カードを直接パソコンと接続する	40
その他	
故障かな？と思ったら	41
リセットボタンについて	42
エラー表示一覧	43
仕様	44
microSD カード対応一覧表	45
1. 録画時間の目安	45
アフターサービス	46
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**
そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.46「アフターサービス」

⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

⚠ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🔗 関連するページを示します。

⊘ **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。**
感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

⚠ **SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。



⊘ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

⚠ **本機は精密機械です。**

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

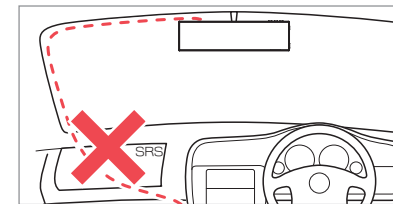
⚠ 警告

⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⊘ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

⚠ **取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。**
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠ **突起部分などにご注意ください。**

取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠ 警告

❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。

タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。

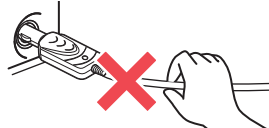


⚠ 注意

❗ エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

❗ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

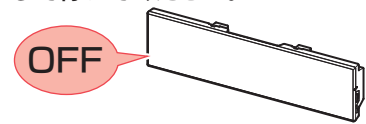
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



● SDカードについて

⚠ 警告

❗ SD カードの出し入れは、本機の電源 ON になっていないことを確認して行ってください。



❗ SD カードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 本機の操作・運転について

⚠ 警告

❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危険

❗ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。

リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❗ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。

リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❗ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。

絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❗ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

- ❌ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上)で使用したり、放置しないでください。

熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

- ❌ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

- ❌ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。

リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

- ❌ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

放置すると液により目に障害を与える原因となります。

警告

- ❗ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。

リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

- ❗ リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

注意

- ❗ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。
充電：0℃～+45℃

リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

- ❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

- ❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

- ❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

- ❌ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。

故障、感電、発熱、発火の原因となります。

- ❌ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。

感電の原因となることがあります。

- ❌ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

- ❌ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。

液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※ 長期間使用しなかった場合。
※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

液晶パネル部に関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サンガラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

SD カードに関する注意

- SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1 ～ 2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- SD カードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

低温環境での動作について

- 極端な低温環境では正常に電源 ON しない場合があります。このような場合は、あらかじめ DC ジャックのコードを抜きヒーターで車内が温まってから DC ジャックのコードを接続してご使用ください。

取り付けに関する注意

- 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 本品の取り付けにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- 本機が純正ルームミラーにしっかり装着されていることをご確認のうえ、走行してください。
- 本機を装着しますと、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- 本機は純正ルームミラーとは視界の範囲が異なりますのでご注意ください。
- 本品は純正ルームミラーに直接取り付けするため、振動により、ルームミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。

内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- リチウムイオン電池には寿命があります。
- 充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内蔵電池（充電式リチウムイオン電池）の交換（修理対応）をご依頼ください。
- 安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0 ～ +45℃になります。

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>



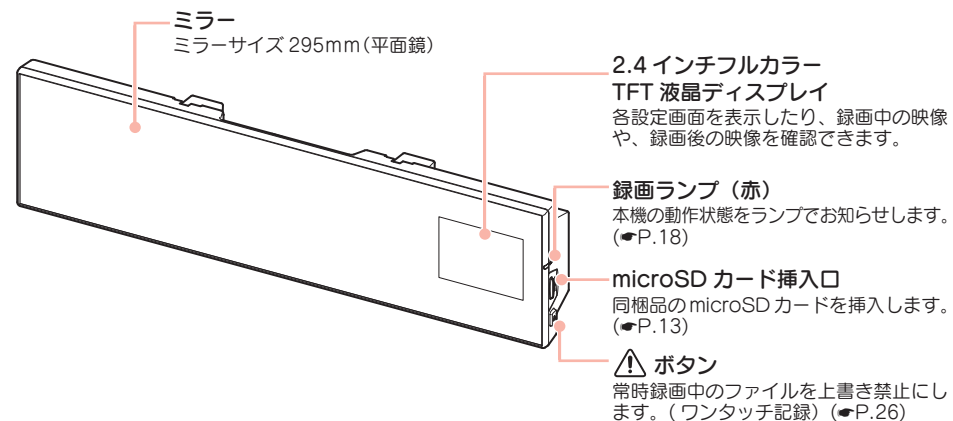
他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

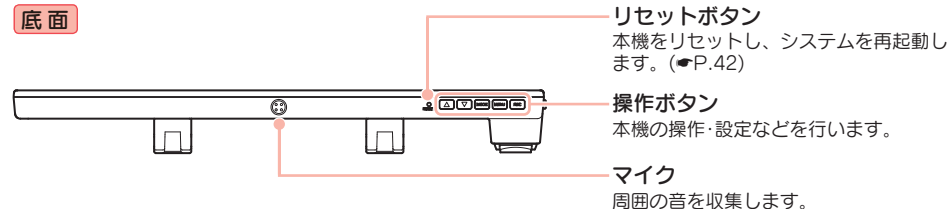
各部の名称と働き

■ 本体

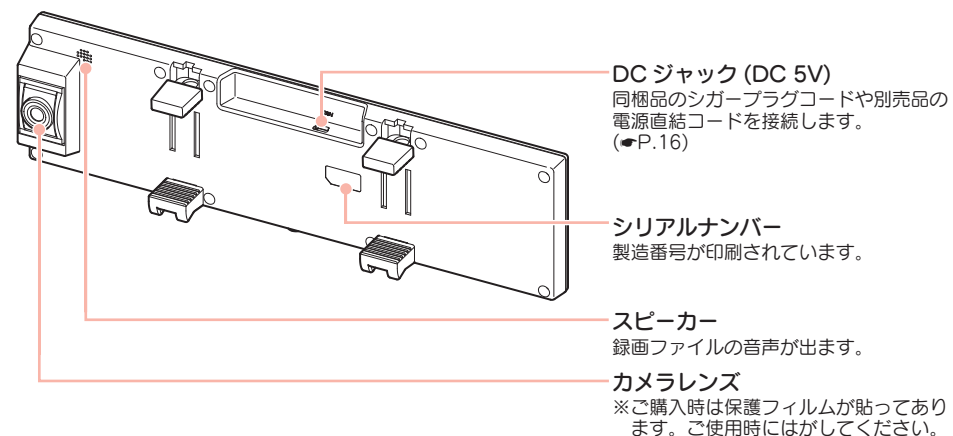
正面



底面



背面



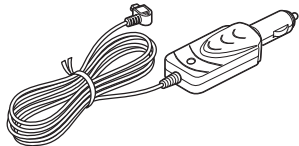
1. 同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

■ 5V コンバーター付シガープラグコード(約 4 m) ……………1

■ microSD カード(8GB) ……………1
(本機にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) ……1



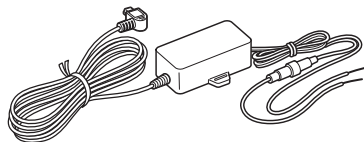
- ・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。ただし、microSD カードなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

- ・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 5V コンバーター付電源直結コード OP-E487 (約 4m) 本体 2,000 円 + 税

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。



3. 同梱品・別売品の購入について

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SD カードの取り外し / 装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記しています。

※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※ 本機は、2GB 以上の microSD カードまたは 32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。(SD スピードクラス「Class6」以上)

⚠ 注意

- ・車両のエンジンを OFF にしてから行ってください。
- ・SD カードは一方方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・同梱品以外の SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

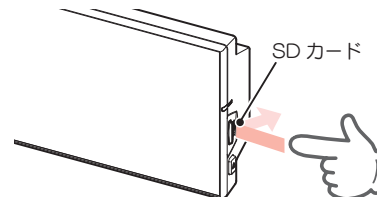
1. SD カードを本機から取り外す

1-1 車両のエンジンを OFF にする
エンジンを OFF にしてから約 10 秒間待ちます。

※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。

※ SD カードの抜き差しは、エンジン OFF 後 10 秒以上経ってから行ってください。

1-2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

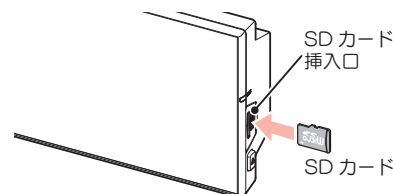
※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。SD カードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SD カードを本機へ装着する

2-1 車両のエンジンを OFF にする
エンジンを OFF にしてから約 10 秒間待ちます。

2-2 SD カードを装着する

SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

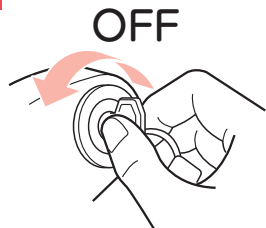


もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず SD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

SDカードの保管

1 本機を電源 OFF する

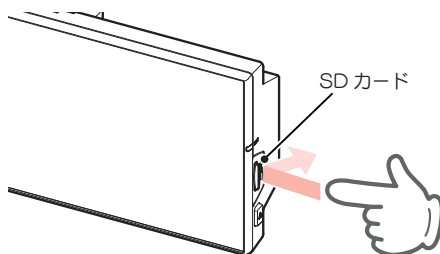


エンジンキーを OFF にし、本機を電源 OFF します。

エンジン OFF 後、約 10 秒間待ちます。

※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。

2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

3 SD カードを保管する

・保管場所について…

SD カードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管すると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

※ 事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと言った場合。



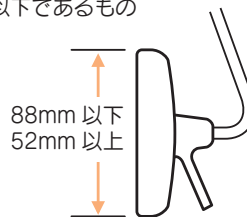
・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

本機の取り付け

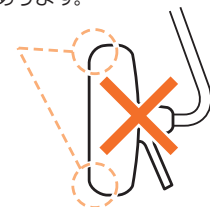
取り付け条件をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付け条件

- 純正ルームミラーのサイズが 52mm 以上、88mm 以下であるもの
- 純正ルームミラーの形状によっては、取り付けできない場合があります。



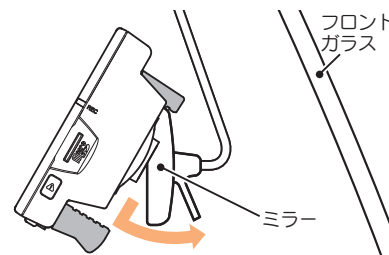
※ 曲面があり、フックがかからないもの



- ・ 本機のミラー面に衝撃を与えないでください。破損でケガの原因となります。
- ・ 本機取り付けにより、サンバイザーが使用できない場合があります。
- ・ 本機が純正ルームミラーにしっかり装着されていることを確認のうえ、走行してください。
- ・ 本機は純正ルームミラーに直接取り付けるため、振動により、ミラーが振れてしまうことや、ルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- ・ 本機を装着しますと、純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- ・ 本機は純正ルームミラーとは視界の範囲が異なりますのでご注意ください。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。

1. 本機を取り付ける

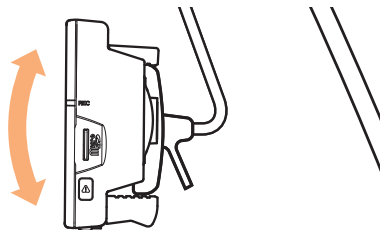
1-1 本機をルームミラーに挟み込む



※ 純正ルームミラーに強い荷重が加わらないよう、手で純正ルームミラーをしっかり支えて取り付けてください。

※ 車体への取り付け強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車両など）では、純正ルームミラーを破壊する恐れがあります。

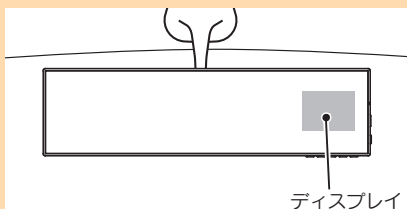
1-2 本機の取り付け角度を調整する



※ ミラーの角度調整を行うときは、本機を持って行うと外れてしまう場合がありますので、必ず純正ルームミラーを持って行ってください。

■ 取り付けの注意

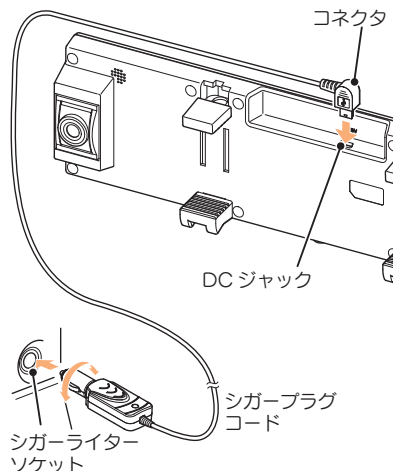
- ・ 画面反転機能が無いため、必ずディスプレイが右側になるように取り付けてください。
- ・ 車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- ・ 本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。



2. 電源を接続する

2-1 シガープラグコードを接続する

同梱品の 5V コンバーター付シガープラグコードを本機の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。



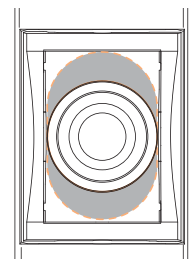
※ シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3. カメラの角度を調整する

- ・ カメラの角度を調整するときは、カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。
- ・ カメラの角度を調整を行うときは、本機を持って行うと外れてしまう場合がありますので、必ず純正ルームミラーを持って角度の調整を行ってください。
- ・ カメラの可動範囲以上に動かすとカメラ部の破損につながりますのでお気を付けください。

3-1 カメラの角度（上下方向）を調整する

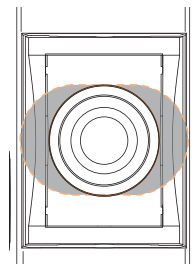
本機を電源ONして（* P.18）、表示される映像を確認しながらカメラレンズの角度（上下方向）を調整してください。



■：カメラ上下可動範囲

3-2 カメラの角度（左右方向）を調整する

表示される映像を確認しながらカメラレンズの角度（左右方向）を調整してください。



■：カメラ左右可動範囲

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期設定のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

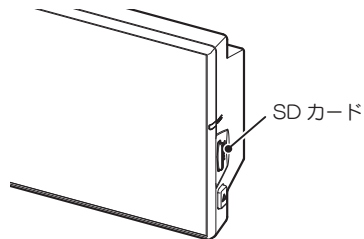


※ 同梱品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON(録画を開始する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SD カードが挿入されていることを確認する



- ・SD カードが挿入されていないときは…
電源が OFF であることを確認して、SD カードを挿入してください。
* P.13「SD カードの取り外し / 装着」

1-2 車両のエンジンを始動する

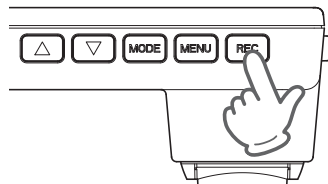
録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。



・録画ランプの色について

録画ランプの状態	本機の動作
赤色の点灯	録画中
消灯	録画以外の動作

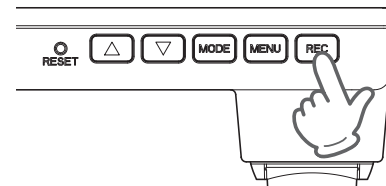
- ・自動的に録画が開始されない場合…
動画記録モードになっていることを確認して、REC ボタンを押してください。



2. 録画を停止する

2-1 REC ボタンを押す

録画を停止します。



※ 録画停止中は、記録マークの表示が消えます。

フォーマットを行わない場合は、* P.21「日付・時刻を設定する」へ進んでください。

3. SD カードをフォーマットする

1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。

※ 同梱品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

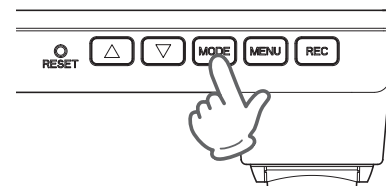
フォーマットを行うと、「上書き禁止ファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ…* P.39「録画ファイルの読み出しについて」

3-1 MODE ボタンを押す

静止画記録モードを表示します。

※ 画面左上に を表示します。



・録画中は設定メニューの表示ができません。

録画の停止は、* 「2. 録画を停止する」

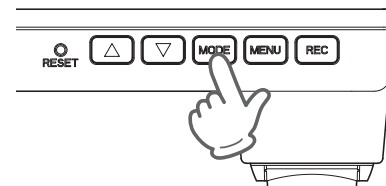


<静止画記録モード>

3-2 MODE ボタンを押す

再生モードを表示します。

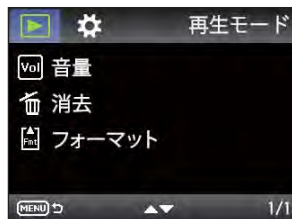
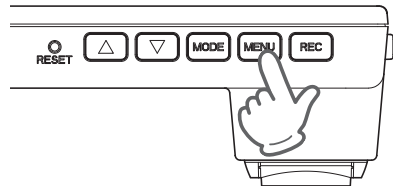
※ 画面左上に を表示します。



<再生モード>

3-3 MENU ボタンを押す

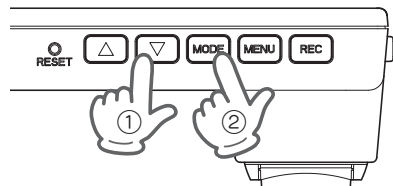
再生モードの設定メニューを表示します。



<再生モードの設定メニュー>

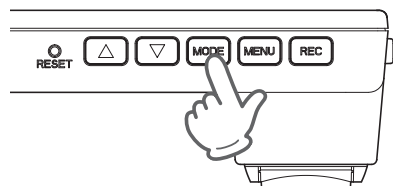
3-4 ▼ボタンを押して、[フォーマット]を選択し、MODE ボタンを押す

「SD カード」を表示します。



3-5 MODE ボタンを押す

「SD カードのデータは全て消去されます」と表示します。



3-6 ▼ボタンを押して、[確認]を選択し、MODE ボタンを押す

フォーマットを行います。

・フォーマットが完了すると、再生モードの設定メニューを表示します。

* P.22「録画を再開する」へ進んでください。

※ [キャンセル] を選択して MODE ボタンを押すと、フォーマットを中止します。

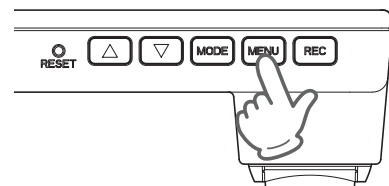
4. 日付・時刻を設定する

時刻は、ずれることがあります。1 ヶ月に 1 度、日時設定し直すことをお勧めします。

※ 時間は、24 時間表示です。

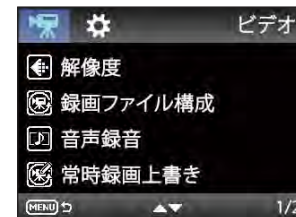
4-1 MENU ボタンを押す

動画記録モードの設定メニューを表示します。



・録画中は設定メニューの表示ができません。

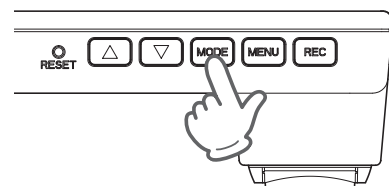
録画の停止は、* P.19



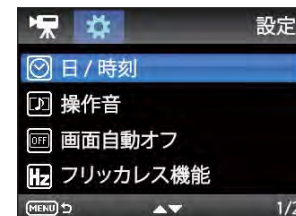
<動画記録モードの設定メニュー>

4-2 MODE ボタンを押す

システム設定メニューを表示します。



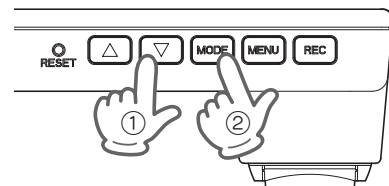
※ 再生モードの設定メニュー (* P.33) または動画記録モードの設定メニュー (* P.29) 表示時に MODE ボタンを押すと、システム設定メニューを表示します。



<システム設定メニュー>

4-3 ▼ボタンを押して、[日 / 時刻]を選択し、MODE ボタンを押す

日時設定画面を表示します。



4-4 年月日と時分秒、年月日の並び (YY/MM/DD)を設定する

選択中の項目を青色で表示します。



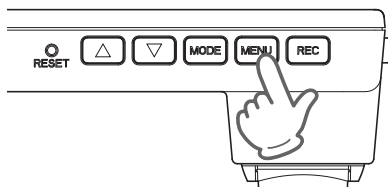
・日時設定画面のボタンの機能

ボタン	機能
▲	日時の値を増加したり、年月日(YY/MM/DD)の並びを変更します。
▼	日時の値を減少したり、年月日(YY/MM/DD)の並びを変更します。
MODE	変更したい項目を選択します。
MENU	モード画面へ戻ります。

5. 録画を再開する

5-1 MENU ボタンを押す

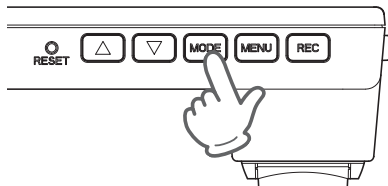
再生モードを表示します。



※ フォーマット後は、「ファイルがありません」と表示されます。

5-2 MODE ボタンを押す

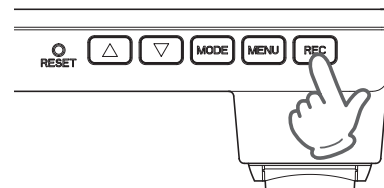
動画記録モードを表示します。



※ 押すたびに、[📹 動画記録モード] → [📷 静止画記録モード] → [🔄 再生モード] にモード変更します。

5-3 REC ボタンを押す

録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。



・画面を非表示にできます。
常時録画中は、MODE ボタンを押すと、ファインダーの「表示」「非表示」が切り替わります。



6. 電源 OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

6-1 車両のエンジンを切る

録画が停止し、電源 OFF します。

初期設定について

本機の初期設定は、下記の表のとおりです。

	設定項目	初期値	説 明
動画記録モードの設定	解像度	720P 15fps	1280 × 720、15 コマ / 秒で録画します。
	録画ファイル構成	5 分単位	5 分単位でファイルを分割保存します。
	音声録音	オン	動画と同時に音声を録音します。
	常時録画上書き	オン	SD カード容量の上限に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(* P.26) ※ 上書き禁止ファイル (ワンタッチ記録) は上書きされません。
	SD カード容量残警告	オン	上書き禁止ファイルの合計容量が SD カード容量の 50% 以上になった場合、および上書き禁止ファイルを保存する空き容量が無い場合に、ピープ音でお知らせします。(* P.27)
再生モードの設定	音量	6	録画ファイルの再生音量や操作音、起動音の音量を 6 に設定しています。
システム設定	操作音	オン	操作音を鳴らします。
	画面自動オフ	常時 ON	画面は常に ON 状態です。
	フリッカレス機能	60Hz	商用周波数を 60Hz (西日本) に設定しています。

※ 初期設定を変更する場合は、* P.28 ~ 36「カスタマイズして使う」を参照ください。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1～2週間に一度のメンテナンス

⚠ 注意

❗ 1～2週間に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

・SD カードのフォーマット

SD カードは、長期間使用することにより、不良セクタが発生します。不良セクタには書き込みをすることができず、SD カードへの書き込みが不安定になる場合があります。1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。（＊ P.19「SD カードをフォーマットする」）

■ 必要に応じてメンテナンス

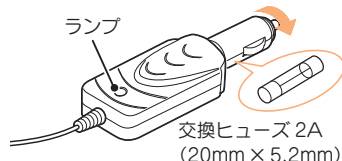
・ヒューズの交換

接続状態でエンジンをかけても電源が ON にならない（シガープラグコードのランプが点灯しない）場合は、シガープラグコードのヒューズ（2A）が切れている可能性があります。

- ① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

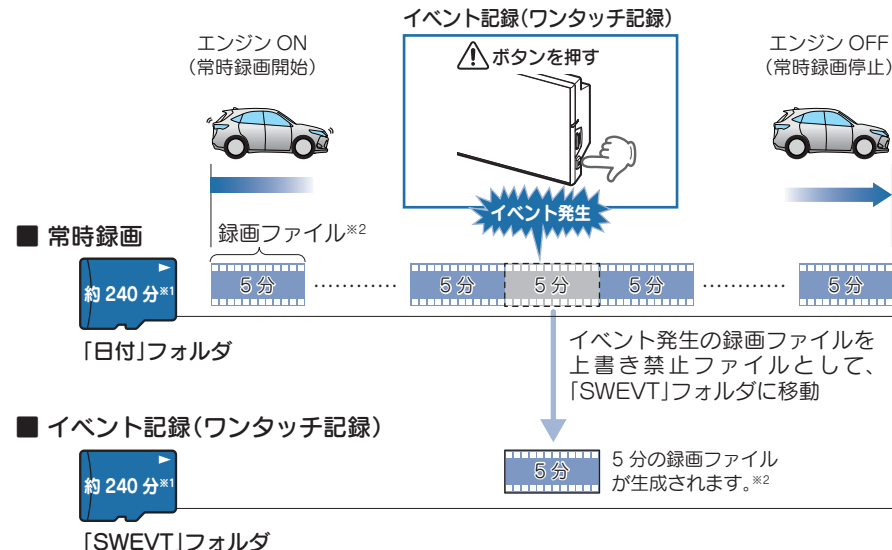
シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す

ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める



録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



※ 1：同梱品の SD カード（8GB）では、常時録画とイベント記録（ワンタッチ記録）を合わせて約 240 分の録画が可能です。

※ 2：録画ファイル構成は設定によって異なります。初期設定は [5 分単位] です。

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を SD カードに常時録画します。

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 5 分で生成します。

※ 設定を変更できます。（＊ P.29）

※ 「常時録画上書き」を [オフ] に設定した場合、録画ファイル構成は最大 25 分単位となります。

・録画可能時間

初期設定 (720P 15fps) で、同梱品の SD カード (8GB) に、常時録画とイベント記録合わせて約 240 分の録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。（＊ P.45「録画時間の目安」）

・上書きについて

初期設定では「常時録画上書き」が [オン] のため、240 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。（＊ P.26「常時録画上書きについて」）

※ 「常時録画上書き」を [オン] に設定していても、上書き禁止ファイル（＊ P.26）で SD カード容量がいっぱいになると、録画を停止します。

2. イベント記録(ワンタッチ記録)

常時録画中に本機の  ボタンを押すことで、設定されたファイル単位の映像をSDカードの「SWEVT」フォルダに、上書き禁止ファイルとして移動します。

- ・録画ファイル構成
1ファイルあたり約5分で生成します。
※ 設定を変更できます。(※ P.29)
※ 「常時録画上書き」を [オフ] に設定した場合、録画ファイル構成は最大25分単位となります。
- ・録画可能時間
初期設定 (720P 15fps) で、同梱品のSDカード (8GB) に、常時録画とイベント記録合わせて約240分の録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(※ P.45「録画時間の目安」)
- ・上書きについて
イベント記録の録画ファイルは、上書きされません。
上書き禁止ファイルでSDカード容量がいっぱいになると、録画を停止します。

■ワンタッチ記録(手動録画)
常時録画中に  ボタンを押すと、1ファイル単位の映像をSDカードの「SWEVT」フォルダに移動します。



 **注意**
 ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 常時録画上書きについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(※ P.29「動画記録モードの設定メニュー」)

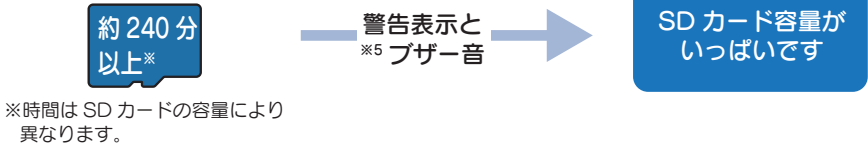
常時録画上書き		上限に達した場合の動作
オフ	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止
オン(初期値)	上書き禁止ファイル以外の録画ファイルを上書きします。 ^{※3}	上書きして録画を継続 ^{※4}

※3：上書き禁止ファイルは、上書きされません。上書き禁止ファイルの削除は、SDカードをフォーマット(※ P.19)するか、再生モードの設定メニューにて個別に消去(※ P.33)できます。
※4：「常時録画上書き」を [オン] に設定していても、上書き禁止ファイルでSDカード容量がいっぱいになると、録画を停止します。

■常時録画上書き：オフ

常時録画や上書き禁止ファイルで、SDカードの容量が上限に達すると、録画を停止します。

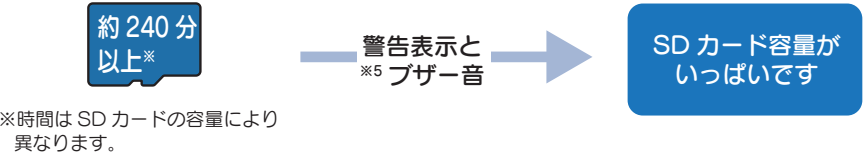
常時録画とイベント記録の
合計録画時間



■常時録画上書き：オン(初期値)

常時録画は、SDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録ファイルがSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。

イベント記録



※5：ブザー音は5分間隔で鳴り続けます。何かボタンを押すとブザー音は停止します。
音量を [0] に設定している場合は、ブザー音は鳴りません。

4. SDカード容量残警告

上書き禁止ファイルの合計容量が、SDカード容量の50%以上になった場合、および上書き禁止ファイルを保存する空き容量が無い場合に、ブザー音でお知らせします。

- ・上書き禁止ファイルが50%以上
「ピッピッピッピッ…」(電源オンから録画開始まで)
- ・上書き禁止ファイルを保存する容量が無い
「ピッピッ ピッピッ…」(常時5分間隔)
※ 何かボタンを押すとブザー音を停止します。

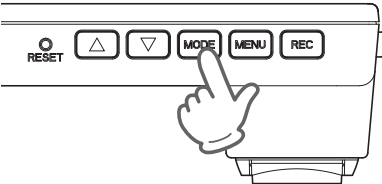
動画記録モードの設定メニューの表示方法

1. 動画記録モードの設定メニューを表示する

1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は REC ボタンを押し、録画を停止する

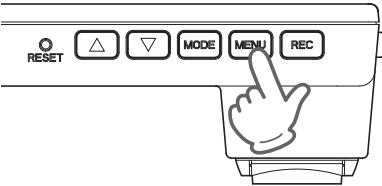
※ 録画中は、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

1-2 MODE ボタンを押す
動画記録モードを表示します。



※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

1-3 MENU ボタンを押す
動画記録モードの設定メニューを表示します。



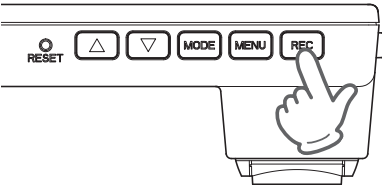
・動画記録モードの設定メニューの詳細は * P.29 を参照ください。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 MENU ボタンを押す
動画記録モードを表示します。

2-2 REC ボタンを押す
録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。



動画記録モードの設定メニュー

動画記録モードの設定を確認または変更します。

※ 動画記録モードの設定メニューの表示方法は * P.28 を参照してください。



★は初期値です。

項目	設定	説明
解像度	1080P HD 10fps	録画の解像度を選択します。 1080P HD : 1920 × 1080 1080P : 1440 × 1080 720P : 1280 × 720
	1080P 15fps	
	720P 30fps	
	720P 15fps(★)	
録画ファイル構成	2 分単位	録画ファイルを設定した長さで分割保存します。
	5 分単位(★)	
	10 分単位	
	15 分単位	
音声録音	オフ	映像と同時に音声も録音するか設定します。
	オン(★)	
常時録画上書き※1 (* P.26)	オフ	SD カード容量の上限に達しても、上書きされません。 SD カード容量の上限に達した場合、常時録画の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。 ※ 上書き禁止ファイルは上書きされません。 ※ 録画ファイル構成が最大 25 分単位となります。
	オン(★)	
SD カード容量残警告	オフ	上書き禁止ファイルの合計容量が、SD カード容量の 50% 以上になった場合、および上書き禁止ファイルを保存する空き容量が無い場合に、ブザー音でお知らせします。 ・上書き禁止ファイルが 50% 以上 「ピッピッピッピッ…」(電源 ON から録画開始まで) ・上書き禁止ファイルを保存する容量が無い 「ピッピッ ピッピッ…」(常時 5 分間隔) ※ 何かボタンを押すとブザー音を停止します。
	オン(★)	

※ 1 : 上書き禁止ファイルは、上書きされません。上書き禁止ファイルの削除は、SD カードをフォーマット (* P.19) するか再生モードの設定メニューにて個別に消去 (* P.33) できます。

■ 動画記録モードの設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機能
▲	設定項目を選択したり、値を増加します。
▼	設定項目を選択したり、値を減少します。
MODE	選択項目を決定します。
MENU	モード画面へ戻ります。

システム設定メニューの表示方法

1. システム設定メニューを表示する

システム設定メニューは、「動画記録モード」「再生モード」のどちらからでも表示させることができます。

1-1 動画記録モードの設定メニューまたは再生モードの設定メニューを表示する

・動画記録モードの設定メニューを表示するには…

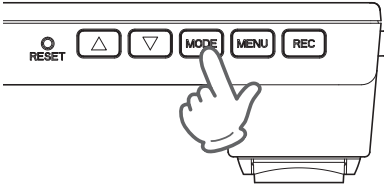
※ P.28「動画記録モードの設定メニューを表示する」

・再生モードの設定メニューを表示するには…

※ P.32「再生モードの設定メニューを表示する」

1-2 MODE ボタンを押す

システム設定メニューを表示します。



・システム設定メニューの詳細は
※ P.31 を参照ください。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 MENU ボタンを押す

動画記録モードまたは再生モードを表示します。

※ 動画記録モードを表示した場合は、手順 2-3 へ進んでください。

2-2 再生モードの場合は、MODE ボタンを押す

動画記録モードを表示します。

※ 押すたびに、[📹 動画記録モード] → [📺 静止画記録モード] → [🔄 再生モード] にモード変更します。

2-3 REC ボタンを押す

録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。

システム設定メニュー

本機の基本設定を確認または変更します。

※ システム設定メニューの表示方法は ※ P.30 を参照してください。



★は初期値です。

項目	設定	説明
日 / 時刻	—	日付、時刻を設定します。(※ P.21)
操作音	オフ	操作音のオン / オフを設定します。
	オン(★)	
画面自動オフ	1 分後	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的にオフします。
	3 分後	
	常時 ON(★)	
フリッカレス機能	50Hz	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz 西日本：60Hz 録画時に蛍光灯などのちらつきを防止し録画します。
	60Hz(★)	
デフォルト設定	キャンセル	設定を初期値(★)に戻します。
	確認	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ システム設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機能
▲	設定項目を選択したり、値を増加します。
▼	設定項目を選択したり、値を減少します。
MODE	選択項目を決定します。
MENU	モード画面へ戻ります。

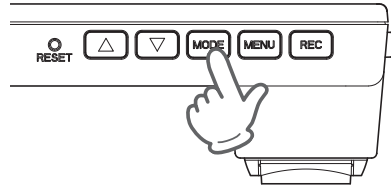
再生モードの設定メニューの表示方法

1. 再生モードの設定メニューを表示する

1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は REC ボタンを押し、録画を停止する

※ 録画中は、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

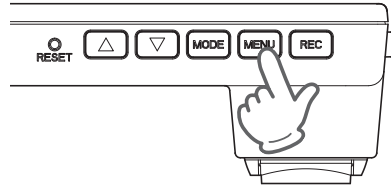
1-2 MODE ボタンを押して、再生モードを表示する



※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

1-3 MENU ボタンを押す

再生モードの設定メニューを表示します。



・動画記録モードの設定メニューの詳細は * P.29 を参照ください。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 MENU ボタンを押す

再生モードを表示します。

2-2 MODE ボタンを押す

動画記録モードを表示します。

※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

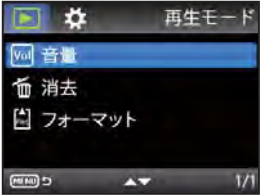
2-3 REC ボタンを押す

録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。

再生モードの設定メニュー

再生モードの設定を確認または変更します。

※ 再生モードの設定メニューの表示方法は * P.32 を参照してください。



★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
音量	0/1/2/3/4/5/6(★)/7/8	録画ファイルの再生音量や操作音、起動音を設定します。
消去	現在のファイルを削除	録画ファイルを削除します。選択中のファイルが全てのファイルかで選択してください。 ※ [全コマ消去] では、上書き禁止ファイルは消去されません。
	全コマ消去	
フォーマット	SD カード	SD カードをフォーマット(初期化)します。(* P.19) ※ 上書き禁止ファイルも消去されます。

■ 再生モードの設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機 能
▲	設定項目を選択したり、値を増加します。
▼	設定項目を選択したり、値を減少します。
MODE	選択項目を決定します。
MENU	モード画面へ戻ります。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
②	ファイル分割時間	録画ファイル構成 (* P.29) で設定した長さを表示します。
③	記録マーク	録画中に点滅表示します。
④	ファインダー	カメラのファインダーです。
⑤	日付	現在の日付を表示します。
⑥	記録時間 / 記録可能時間	録画中は、現在の映像の1ファイル単位の記録時間を表示します。 録画停止中は、現在の設定での記録可能時間を表示します。
⑦	解像度	記録解像度を表示します。 (* P.29)
⑧	ズーム倍率	ズーム倍率 (x1.2 ~ x4.0) を表示します。 ※ ズーム倍率は固定されません。電源 OFF したり、他のモードに変更した場合、1.0 倍に戻ります。
⑨	ファイルプロテクトアイコン	ワンタッチ記録 (* P.26) されたファイルに表示します。
⑩	microSD アイコン	SD カードが挿入されていることを表示します。
⑪	時刻	現在時刻を表示します。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
▲	1 倍 ~ 4 倍までズームインします。
▼	4 倍 ~ 1 倍までズームアウトします。
MODE	録画中は、画面を消します。 録画停止中は、モードを変更します。
MENU	録画停止中は、動画記録モードの設定メニューを表示します。 (* P.28)
REC	録画の開始、または停止をします。
⚠	録画中に押すと、録画中のファイルを上書き禁止に設定します。 (* P.26)

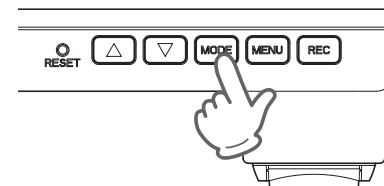
静止画記録モードの表示・撮影方法

1. 静止画記録モードを表示する

- 1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は REC ボタンを押し、録画を停止する

※ 録画中は、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

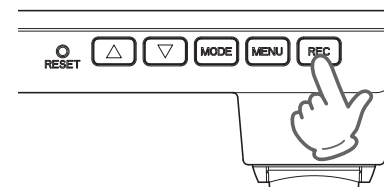
- 1-2 MODE ボタンを押して、静止画記録モードを表示する



※ 押すたびに、[📹 動画記録モード] → [📷 静止画記録モード] → [🔄 再生モード] にモード変更します。
・静止画記録モードの詳細は * P.36 を参照ください。

2. 静止画を撮影する

- 2-1 REC ボタンを押す
静止画を撮影します。



※ 静止画の解像度は、2592 × 1944 となります。変更はできません。

3. 録画を再開する

- 3-1 MODE ボタンを押して、動画記録モードを表示する

※ 押すたびに、[📹 動画記録モード] → [📷 静止画記録モード] → [🔄 再生モード] にモード変更します。

- 3-2 REC ボタンを押す
録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。

静止画記録モード

静止画記録モードでは、デジタルカメラのように静止画を撮影します。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	静止画記録モードアイコンを表示します。
②	ファインダー	カメラのファインダーです。
③	ズーム倍率	ズーム倍率(x1.2～x4.0)を表示します。 ※ズーム倍率は固定されません。電源OFFしたり、他のモードに変更した場合、1.0倍に戻ります。
④	撮影可能枚数	残りのSDカード容量で撮影可能な静止画枚数を表示します。
⑤	microSDアイコン	SDカードが挿入されていることを表示します。

■ 静止画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
▲	1倍～4倍までズームインします。
▼	4倍～1倍までズームアウトします。
MODE	モードを変更します。

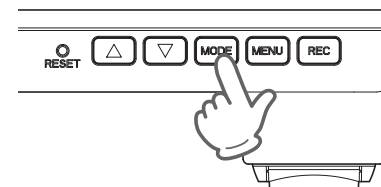
再生モードの表示・再生方法

1. 再生モードを表示する

- 1-1 本機の電源 ON を確認し、録画中の場合は REC ボタンを押し、録画を停止する

※ 録画中は、モード変更やメニュー画面の表示ができません。

- 1-2 MODE ボタンを押して、再生モードを表示する



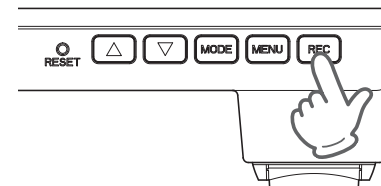
※ 押すたびに、[動画記録モード] → [静止画記録モード] → [再生モード] にモード変更します。

・再生モードの詳細は * P.38 を参照ください。

2. 本機で録画ファイルを再生する

- 2-1 ▲▼ボタンを押して、録画ファイルを選択する

- 2-2 REC ボタンを押す
再生します。



3. 録画を再開する

- 3-1 MODE ボタンを押して、動画記録モードを表示する

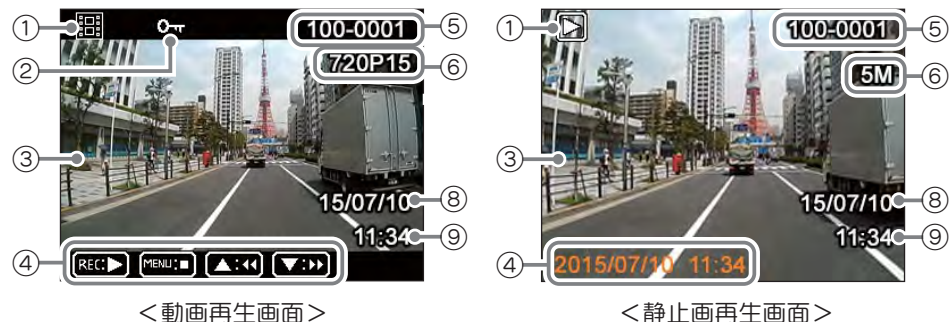
- 3-2 REC ボタンを押す

録画ランプが点灯し、記録マークが点滅して、録画を開始します。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルを本機上で再生できます。

※ 再生モードの表示方法は * P.37 を参照してください。



No.	表示名	説明
①	ファイルアイコン	動画アイコンまたは静止画アイコンを表示します。
②	ファイルプロテクトアイコン	ワンタッチ記録(* P.26)された録画ファイルに表示します。
③	記録映像	記録した動画または静止画を再生します。
④	操作アイコン	操作ボタンの機能を表示します。
	記録日時	録画ファイルに書き込まれた記録日時を表示します。
⑤	ファイル番号	フォルダとファイル番号を表示します。
⑥	ファイル解像度	記録解像度を表示します。(* P.29) ※ 静止画は [5M](2592 × 1944) で固定となります。
⑦	再生時間	現在の再生時間を表示します。
⑧	記録日時	映像を記録した日付を表示します。
⑨	記録時刻	映像を記録した時刻を表示します。

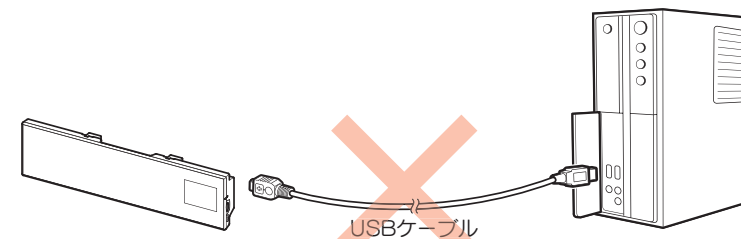
■ 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機能
▲	ファイル選択時	前のファイルを表示します。
	ファイル再生時	巻き戻します。(x-2、x-4、x-8)
▼	ファイル選択時	次のファイルを表示します。
	ファイル再生時	早送りします。(x2、x4、x8)
MODE	ファイル選択時	モードを変更します。
MENU	ファイル選択時	再生設定メニューを表示します。
	ファイル再生時	停止します。
REC	ファイル選択時	再生します。
	ファイル再生時	一時停止します。

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 7 または 8
CPU : Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上



※ 本機とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
本機から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

記録した時間、ファイル番号がファイル名となります。

※ ファイル番号は (0001 ~ 9999) 範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

例 11 04 0001 . AVI — 動画(静止画の場合は「JPEG」となります)。
時 分 — ファイル番号

■ フォルダ名について

フォルダ番号、記録した日付がフォルダ名となります。

※ フォルダ番号は (100 ~ 999) 範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

例 100 5 07 10 — 年の末字 2015
月 日 — フォルダ番号

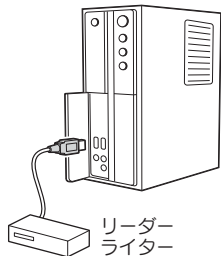
・ワンタッチ記録されたファイルは、フォルダ番号の後に「SWEVT」と付きます。

※ フォルダ番号は (101 ~ 999) 範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

例 101 SWEVT — フォルダ番号

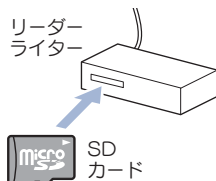
1. SD カードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する



※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

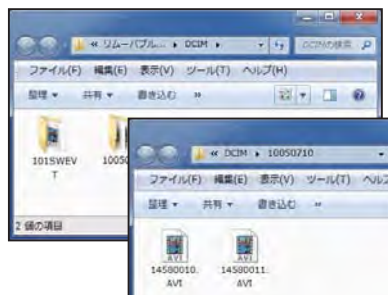
1-2 SD カードをリーダーライターに接続する



1-3 SD カードを開き、「DCIM」フォルダを開く



1-4 目的の日付のフォルダを開き、録画ファイルをダブルクリックする

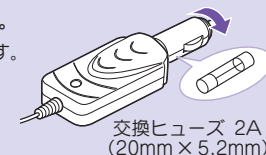


- ・ Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。
- ・ 上書き禁止ファイル (* P.26) は、フォルダ名に「SWEVT」と付いたフォルダに保存されています。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
シガープラグの先端を矢印の方向に回しヒューズを取り出します。

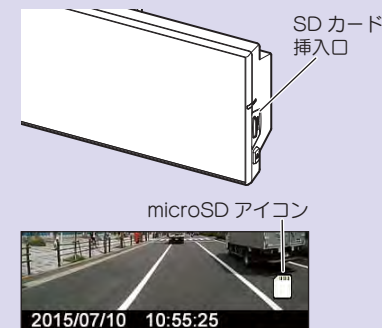


交換ヒューズ 2A
(20mm × 5.2mm)

映像が記録できない

- SDカードが正しく挿入されていますか。

SDカードが正しく挿入されている場合は、画面右下にmicroSDアイコンが表示されます。
(●P.34)



- 常時録画上書きが[オフ]になっていませんか。

常時録画上書きを[オフ]に設定した場合、SDカード容量の上限に達すると、録画を停止し、「SDカード容量がいっぱいです」とメッセージを表示します。
常時録画上書きは、「動画記録モードの設定メニュー」→「常時録画上書き」で確認できます。
(●P.29「動画記録モードの設定メニュー」)

- ワンタッチ記録ファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

ワンタッチ記録ファイルは、上書きできません。
ワンタッチ記録ファイルを選択して消去する(●P.33)か、SDカードをフォーマットする(●P.19)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。
ワンタッチ記録ファイルには、再生モード(●P.38)でアイコンを表示します。

ファイルプロテクトアイコン



<動画再生画面>

エンジンを切るとズーム倍率が 1.0 に戻る

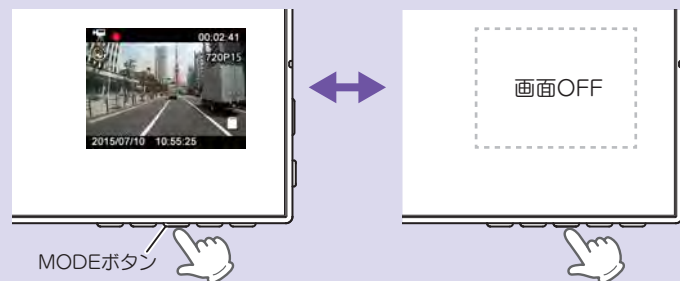
本機はズーム倍率を保持しません。

電源OFFしたり、他のモードに変更した場合、1.0倍に戻ります。

画面を非表示にしたい

□ 「システム設定メニュー」→「画面自動オフ」で、画面を非表示にすることができます。
(●P.31)

□ 常時録画中にMODEボタンを押すと、画面を非表示にすることができます。
もう一度MODEボタンを押すと画面を表示できます。



モニター画面に斑点や輝点がある

液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

■ リセットボタンについて

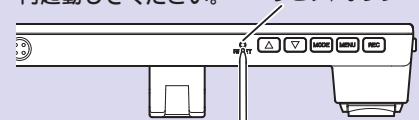
画面が固まって
動かない

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは

リセットボタンを押して
再起動してください。

リセットボタン



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押しても SD カードに記録したデータは消えません。

エラー表示一覧

エラーメッセージ

SD カードを読み込めません
フォーマットしてください

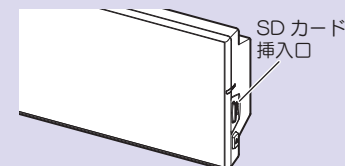
対処方法

□ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。

- ・記録媒体：microSDHC カード
- ・容量：2 ～ 32GB
- ・SD スピードクラス：Class 6 以上

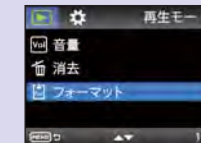
□ SDカードが正しく挿入されていますか。

SDカードが正しく挿入されている場合は、画面右下にmicroSDアイコンが表示されます。(●P.34)



□ 本機でSDカードをフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、上書き禁止ファイルも全て削除されます。
必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。
(●P.19「SD カードをフォーマットする」)



SD カード容量が
いっぱいです

□ 常時録画上書きが[オフ]になっていませんか。

常時録画上書きを[オフ]に設定した場合、SD カード容量の上限に達すると、録画を停止します。
常時録画上書きは、「動画記録モードの設定メニュー」→「常時録画上書き」で確認できます。(●P.29「動画記録モードの設定メニュー」)

□ ワンタッチ記録ファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

ワンタッチ記録ファイルは、上書きできません。
ワンタッチ記録ファイルを選択して消去する(●P.33)か、SDカードをフォーマットする(●P.19)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。
ワンタッチ記録ファイルには、再生モード(●P.38)で「再生」アイコンを表示します。

ファイルプロテクトアイコン



<動画再生画面>

□ 本機でSDカードをフォーマットをしてください。

不良セクタが発生して、録画ができなくなっている可能性があります。
必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。
(●P.19「SD カードをフォーマットする」)

仕様

電源電圧	本体 (DC ジャック) DC5V	同梱品の 5V コンバータ付シガープラグコード DC 5V 出力 (DC12V マイナスアース車専用)
消費電力	5W	
カメラ素子	カラー CMOS	
視野角※ 1	レンズ画角：対角 140° (100° (水平)、70° (垂直)) 最大記録画角：対角 115° (95° (水平)、52° (垂直))	
カメラ可動範囲	上下：15° / 左右：15°	
デジタルズーム	x1.0 ～ x4.0	
モニター	2.4 インチ フルカラー TFT 液晶	
記録解像度	動画：200 万画素 静止画：500 万画素	
画像サイズ	動画：720P(1280 × 720)/1080P(1440 × 1080)/1080P HD(1920 × 1080) 静止画：2592 × 1944	
録画ファイル構成	2 分単位、5 分単位、10 分単位、15 分単位 ※「常時録画上書き」を [オフ] に設定した場合、最大 25 分単位となります。	
記録媒体	microSD カード(8GB 同梱)	
記録形式	動画：AVI(H.264) 静止画：JPEG	
フレームレート	720P：30、15 コマ / 秒 1080P：15 コマ / 秒 1080P HD：10 コマ / 秒	
動作温度範囲	0℃～+ 60℃	
外形寸法	300(W) × 80(H) × 16(D)mm(突起部除く)	
重量	約 309g(microSD カード含む)	

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

microSD カード対応一覧表

※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHC カード
容量	2 ～ 32GB
SD スピードクラス	Class 6 以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード容量	720P 15fps	720P 30fps	1080P	1080P HD
32GB	約 960 分	約 560 分	約 400 分	約 400 分
16GB	約 480 分	約 280 分	約 200 分	約 200 分
8GB(同梱品)	約 240 分	約 140 分	約 100 分	約 100 分
4GB	約 120 分	約 70 分	約 50 分	約 50 分
2GB	約 60 分	約 35 分	約 25 分	約 25 分

- ・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ・録画時間は、常時録画とイベント記録（ワンタッチ記録）の全ての録画時間の合計です。

・お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度（* P.29）により録画可能時間は変化します。

●保証書(裏表紙参照)

●保証期間

●対象部分機器

●修理をご依頼される時

○保証期間中のとき

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



 **0120-998-036**

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.